

取扱説明書

工事説明付き

同軸変換ユニット

品番 WX-SA002



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（6～7ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

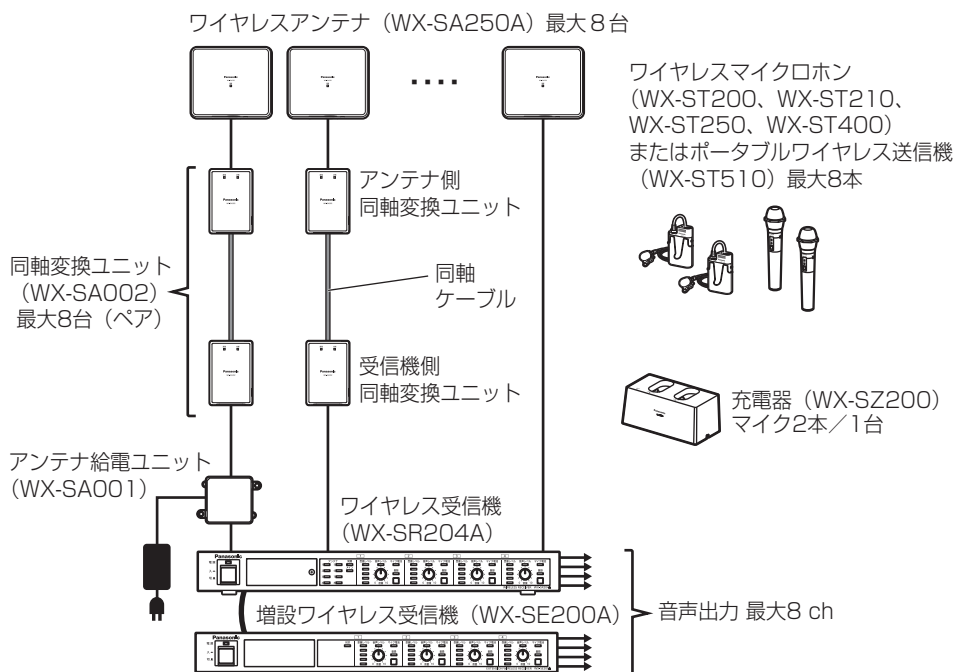
商品概要

本機は、1.9 GHz帯デジタルワイヤレスマイクシステムWX-SR200Aシリーズのワイヤレスアンテナ（WX-SA250A：別売品）とワイヤレス受信機（WX-SR202A、WX-SR204A：ともに別売品）との接続に使用するLANケーブルを同軸ケーブルに変換するユニットです。ワイヤレスアンテナとワイヤレス受信機間を同軸ケーブルで配線する場合に使用します。

- 同軸ケーブルの両端に本機を接続して使用します。
- 据置設置、壁掛け設置、天井設置ができます。
- 本機はアンテナ側同軸変換ユニットと受信機側同軸変換ユニットのセットで構成されています。

システム概要

1.9 GHz帯デジタルワイヤレスマイクシステムWX-SR200Aシリーズで同軸変換ユニットを使用する場合、単一のシステムで最大8本までのワイヤレスマイクまたはポータブルワイヤレス送信機を使用することが可能です。（マイク9本以上は使用できません）



接続できるワイヤレス受信機、ワイヤレスアンテナ

本機が接続できるワイヤレス受信機はWX-SR202AおよびWX-SR204A、ワイヤレスアンテナはWX-SA250Aです。システム構成機器のなかにWX-SR202、WX-SR204、WX-SE200、WX-SA250がある場合は本機は使用できません。

※ 本機を接続する場合、ワイヤレス受信機（WX-SR202A、WX-SR204A）、増設ワイヤレス受信機（WX-SE200A）、ワイヤレスアンテナ（WX-SA250A）のファームウェアのバージョンはすべて**V5.00以降**である必要があります。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊
保証書.....	1式
スイッチボックス取付用ねじ（M4×25 mm）.....	4本
壁取付用ねじ（木ねじ 4.1×25 mm）.....	4本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- 同軸変換ユニット（WX-SA002）は、アンテナ側同軸変換ユニットと受信機側同軸変換ユニットで構成されており、アンテナ側同軸変換ユニットと受信機側同軸変換ユニットを合わせて本機と表記しています。また、アンテナ側同軸変換ユニットを本機（アンテナ側）、受信機側同軸変換ユニットを本機（受信機側）と表記しています。
- ワイヤレスアンテナ（WX-SA250A）をアンテナと表記しています。
- ワイヤレスマイクロホン（WX-ST200、WX-ST210、WX-ST250、WX-ST400：ともに別売品）や、ポータブルワイヤレス送信機（WX-ST510：別売品）をマイクと表記しています。
- ワイヤレス受信機（WX-SR202A、WX-SR204A：ともに別売品）をワイヤレス受信機または受信機と表記しています。
- アンテナ給電ユニット（WX-SA001：別売品）をアンテナ給電ユニットと表記しています。
- パーソナルコンピューターをPCと表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2020年12月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
システム概要	2
接続できるワイヤレス受信機、 ワイヤレスアンテナ	3
付属品をご確認ください	3
免責について	3
著作権について	3
略称について	4
記号について	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	8
各部の名前とはたらき	9

設置・設定

設置のしかた	11
設置上のお願い	11
据置設置	13
壁掛け設置（スイッチボックスを 使用する場合）	15
壁掛け設置（壁に直接取り付ける 場合）	17
天井設置	19
接続のしかた	21
同軸変換ユニット間の接続	21
アンテナとの接続	22
受信機との接続	23
アンテナ給電ユニットとの接続	24

その他

外形寸法図	26
故障かな!?	27
仕様	29
保証とアフターサービス	30

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

質量に耐える取り付けをする

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

● 十分な強度に補強してから取り付けてください。

設置の説明にしたがって天井または壁にしっかり取り付ける

けがや事故の原因となります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

● 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

外郭部にひびや割れが発生した場合は、使用をやめ取り外す

落下の原因となります。

● 必ず販売店に依頼してください。

使用しなくなった、あるいは使用不可になった場合、放置せずに

取り外す

種々の部品の腐食により、落下の原因となります。

● 必ず販売店に依頼してください。

地震後は必ず点検する

本体取付部が損傷し、落下の原因となります。

● 必ず販売店に依頼してください。



警告



禁止

可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない

爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。

取り付けた状態での部品交換は行わない

部品の落下の危険性があり、事故の原因となります。

変形した取付金具・損傷した外郭部品を使って本機を設置しない

落下の危険性があり、事故の原因となります。



分解禁止

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。



注意

**工事は販売店に依頼する**

工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

高所作業は資格者が行う

工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

取付用ねじが壁内部の金属部と接触しないように設置する

壁内部の金属部や配線部材と接触して、感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源を切る

けがの原因となります。



禁止

電源を入れたまま工事、配線をしない

けがの原因となります。

ケーブルなどは引っ張らない

けがの原因となります。

ケーブルなどを傷つけない

重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

けがの原因となります。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

丁寧に取扱ってください

- 本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは受信機と接続しているLANケーブルを抜いてください。

設置条件により容易にケーブルを外せないとき、本機が受信機に接続されている場合、受信機の電源スイッチを「切」にするか受信機の電源コードを抜いてください。

本機がアンテナ給電ユニットに接続され、アンテナ給電ユニットに受信機が接続されている場合、受信機の電源スイッチを「切」にするか受信機の電源コードを抜くか受信機からアンテナ給電ユニットへのLANケーブルを抜き、アンテナ給電ユニットの電源コードを抜いてください。

設置条件により容易に上記ができないときは、本機と接続する受信機あるいはアンテナ給電ユニットの電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由した電源コンセントまたは電源制御ユニットなどのコンセントに接続してください。

表示について

本機の識別およびその他の表示はカバー内および機器背面をご覧ください。

お手入れについて

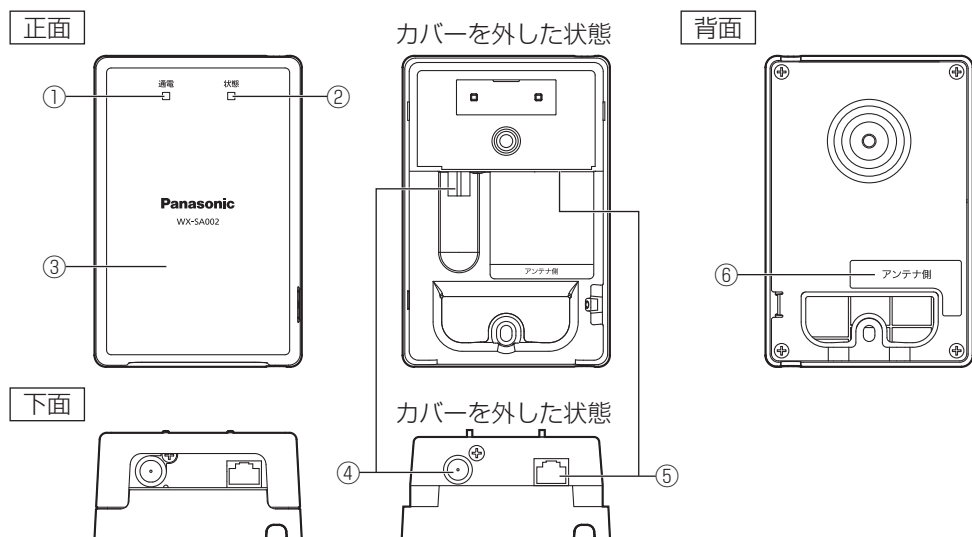
- 電源を切り乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- スプレー式洗浄液、ホース水、高圧清掃水、高温スチームなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

長期間使用しない場合は

- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

各部の名前とはたらき

アンテナ側同軸変換ユニット



① 通電表示灯【通電】

本機（アンテナ側）に供給される電源の状態を表示します。

点灯（緑色）：通電中、電源電圧正常

点灯（赤色）：通電中、電源電圧低下

消灯：電源供給なし

② 状態表示灯【状態】

受信機、アンテナとの通信状態を表示します。

点灯（緑色）：通信中

点灯（赤色）：通信停止状態



- システム起動中に点灯（赤色）、点滅（赤色）しますが、故障ではありません。

③ カバー

設置時はこのカバーを開けて、ワイヤレスアンテナ接続端子と同軸ケーブル接続端子にケーブルを接続したあとに、カバーを閉じます。

④ 同軸ケーブル接続端子（カバー内）

受信機側同軸変換ユニットとの接続端子です。同軸ケーブルで接続してください。

⑤ ワイヤレスアンテナ接続端子（カバー内）

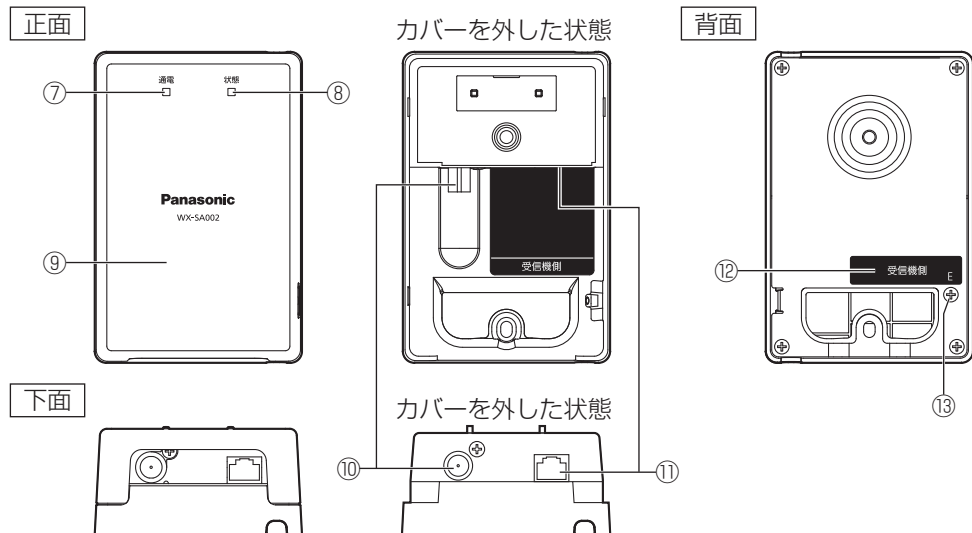
アンテナとの接続端子です。LANケーブルで接続してください。

⑥ 識別ラベル

「アンテナ側」の記載があります。

各部の名前とはたらき

受信機側同軸変換ユニット



⑦ 通電表示灯 [通電]

本機（受信機側）に供給される電源の状態を表示します。

点灯（緑色）：通電中、電源電圧正常

点灯（赤色）：通電中、電源電圧低下

消灯：電源供給なし

⑧ 状態表示灯 [状態]

受信機、アンテナとの通信状態を表示します。

点灯（緑色）：通信中

点灯（赤色）：通信停止状態



- システム起動中に点灯（赤色）、点滅（赤色）しますが、故障ではありません。

⑨ カバー

設置時はこのカバーを開けて、ワイヤレス受信機接続端子と同軸ケーブル接続端子にケーブルを接続したあとに、カバーを閉じます。

⑩ 同軸ケーブル接続端子（カバー内）

アンテナ側同軸変換ユニットとの接続端子です。同軸ケーブルで接続してください。

⑪ ワイヤレス受信機接続端子（カバー内）

受信機またはアンテナ給電ユニットとの接続端子です。LANケーブルで接続してください。

⑫ 識別ラベル

「受信機側」の記載があります。

⑬ アース端子 [E]

雷サージなどの異常電圧保護用の端子です。アース線を接続して接地してください。

（アンテナ側同軸変換ユニットにはアース端子はありません）

設置のしかた

■ 設置上のお願ひ



- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

工事は電源を入れないで行ってください

- 工事は、本機に電源が供給されていないことを確認して行ってください。また本システムに接続されているミキサーやアンプなどの電源も切ってから行ってください。接続時にスピーカーから大きなノイズが出て、機器の破損につながります。

設置について

- 高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。設置場所の放熱を良くしたり、暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

設置場所について

- 本機は防水、防塵機器ではありません。
- 屋外に設置する場合は、雨、風、粉塵などから保護するため、防水ボックスなどを使用して設置してください。
- 長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

以下の場所には設置しないでください

- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- プールなど化学剤が使用されている場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- テレビ・ラジオ・パソコンなどのOA機器の近く
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 傾斜のある場所
- 直射日光が当たる場所
- 屋根がなく、直接、風雨にさらされる場所

設置のしかた

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときはLANケーブルと同軸ケーブルを抜いてください。設置条件により容易にLANケーブルと同軸ケーブルを外せないときは、本機と接続する受信機およびアンテナ給電ユニットの電源コードを抜いてください。



- 設置の前に必ず本機に電源が供給されていないことをご確認ください。

静電気について

- 静電気による損傷を防止するために、設置工事の前に、アースの取れた金属製のものに触れて身体に帯電した静電気を放電してください。

ねじの締め付けについて

- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- インパクトドライバーや電動ドライバーは、クラッチ付のものであってもトルク管理が困難なため、使用すると取り付け部の破損の原因になりますので、使用しないでください。

強い衝撃を与えない

- 本機に強い衝撃を与えないでください。本機が破損するおそれがあります。

LANケーブルについて

- ケーブルは付属していません。
カテゴリ5（またはカテゴリ5e、カテゴリ6）**ストレート結線**のネットワークLAN対応のケーブルを別途ご用意ください。ケーブルの長さには制限があり、接続のしかたにより異なります。詳しくは「接続のしかた」（22～25ページ）をお読みください。

同軸ケーブルについて

- 同軸ケーブルは付属していません。
同軸ケーブルは5C-FBまたは5C-2Vを別途ご用意ください。
- 同軸ケーブルに適合するBNCプラグも別途ご用意ください。
- ケーブルの長さには制限があります。詳しくは「接続のしかた」（21ページ）をお読みください。
- 本機に同軸ケーブルを接続する前に、必ず、同軸ケーブル（既設または新設）のループ抵抗を測定してください。ループ抵抗は5 Ω以下であることを確認してください。

アース接続について

- 本機（受信機側）のアース端子をアース線で必ず、接地してください。
- アース線は付属していません。
- 本機（受信機側）のアース端子は背面にありますので、本機（受信機側）を取り付け（固定）する前にアース線を接続してください。

設置について

- 設置環境に合わせて、据置設置、壁掛け設置、天井設置を選択してください。

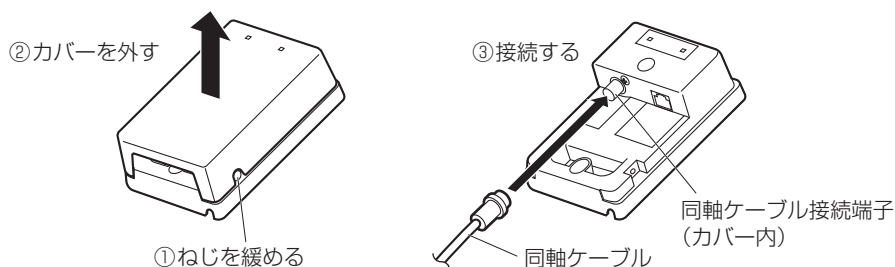
本機（アンテナ側）と本機（受信機側）との接続、本機と受信機、アンテナ、およびアンテナ給電ユニットの接続方法については、21ページ～25ページの「接続のしかた」もお読みください。

■ 据置設置

本機（受信機側）を据置設置する方法を説明します。

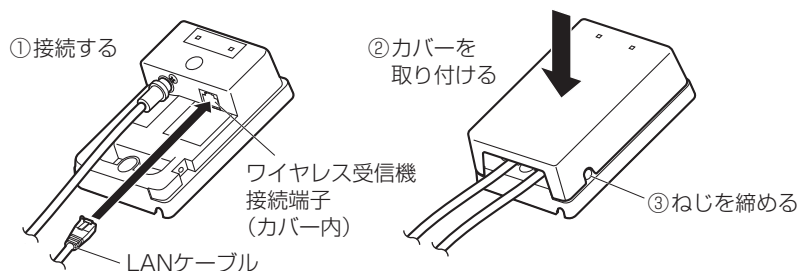
1 同軸ケーブルを本機（受信機側）に接続する

- 本機（受信機側）側面のねじを緩め、カバーを外してください。（ねじが引っかけることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り外してください）
- 同軸ケーブルを本機（受信機側）の同軸ケーブル接続端子に接続します。
※ BNCプラグを回転させて、ロックさせてください。



2 LANケーブルを本機に接続する

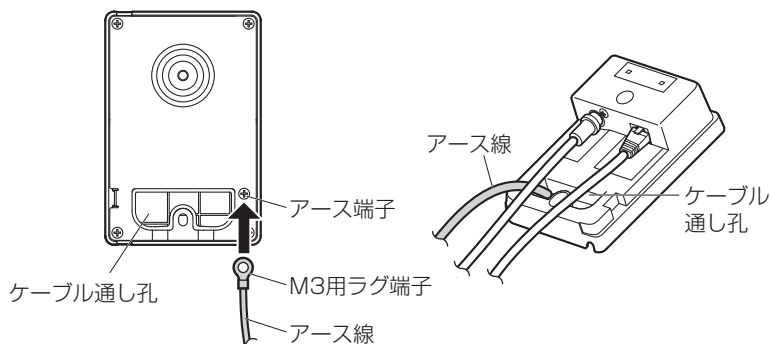
- LANケーブルを本機（受信機側）のワイヤレス受信機接続端子に接続します。
※ LANケーブル端子のツメをロックさせてください。
- 本機（受信機側）のカバーを取り付け、側面のねじで固定してください。（ねじが引っかけることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り付けてください）
ねじ締付トルク：0.59 N・m～0.69 N・m {6 kgf・cm～7 kgf・cm}



3 アース端子を接地する

本機（受信機側）の背面のアース端子にアース線を接続して、接地してください。

- 本機のアース端子に接続するアース線にM3用ラグ端子を取り付けて、ラグ端子をアース端子にねじ止めしてください。
- 電源コンセントのアース端子などに接続して接地してください。
- アース端子締付トルク：0.59 N・m～0.69 N・m {6 kgf・cm～7 kgf・cm}
- アース線はケーブル通し孔を通して前面に出して配線してください。



4 本機を設置する

ラック内、卓上など平らな面に設置してください。



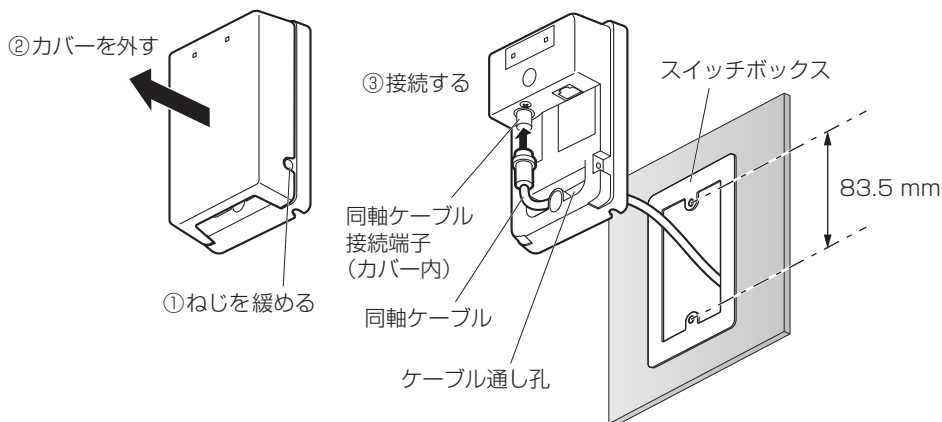
- 本機（受信機側）の背面のアース端子をアース線で接地してください。接続しなかった場合、雷サージなどの異常電圧に対する保護機能が動作せず、故障の原因となります。

■ 壁掛け設置（スイッチボックスを使用する場合）

本機（アンテナ側）または本機（受信機側）をスイッチボックスを使用して壁に取り付ける方法を説明します。

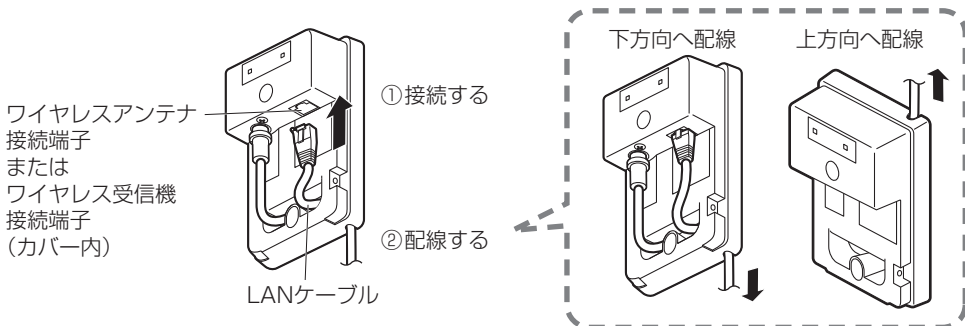
1 スwitchボックスから同軸ケーブルを取り出して、本機に接続する

- 本機側面のねじを緩め、カバーを外してください。（ねじが引っかかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り外してください）
- 壁に設置された1個用スイッチボックス（例：パナソニック製 品番：DS4911K）から同軸ケーブル（BNCプラグ取り付け済み）を取り出し、本機のケーブル通し孔に通して同軸ケーブル接続端子に接続します。
※ BNCプラグを回転させて、ロックさせてください。



2 LANケーブルを本機に接続する

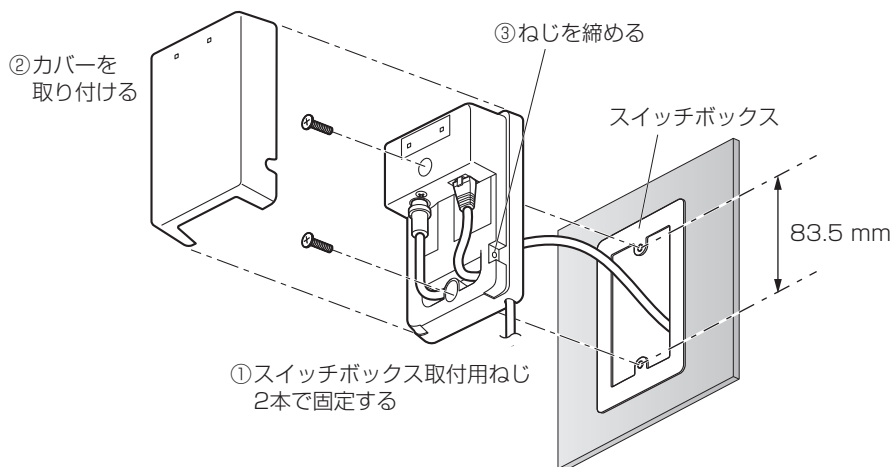
- LANケーブルを本機のワイヤレスアンテナ接続端子またはワイヤレス受信機接続端子に接続します。
※ LANケーブル端子のツメを必ずロックさせてください。
- LANケーブルを本機のケーブル通し孔に通して、スイッチボックス内、または製品の上方向へ配線してください。ケーブル通し孔を通さずに真下に配線することも可能です。



設置のしかた

3 本機をスイッチボックスに取り付ける

- ケーブルを挟まないように注意しながら、本機をスイッチボックス取付用ねじ2本（M4×25 mm）（付属品）でスイッチボックスのねじ穴に取り付けます。
- 本機のカバーを取り付け、側面のねじで固定してください。（ねじが引っかかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り付けてください）
ねじ締付トルク：0.59 N・m～0.69 N・m {6 kgf・cm～7 kgf・cm}



重要

- ねじ1本あたりの最低引抜強度は、196 Nです。
- 落下防止のため、必ずスイッチボックス取付用ねじを確実に締め付けてください。
締め付けなかった場合、本機の落下につながります。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

4 設置を確認する

- 設置完了後、すべての個所が固定されているか確認してください。
- 緩んだ部分などがないか確認してください。



重要

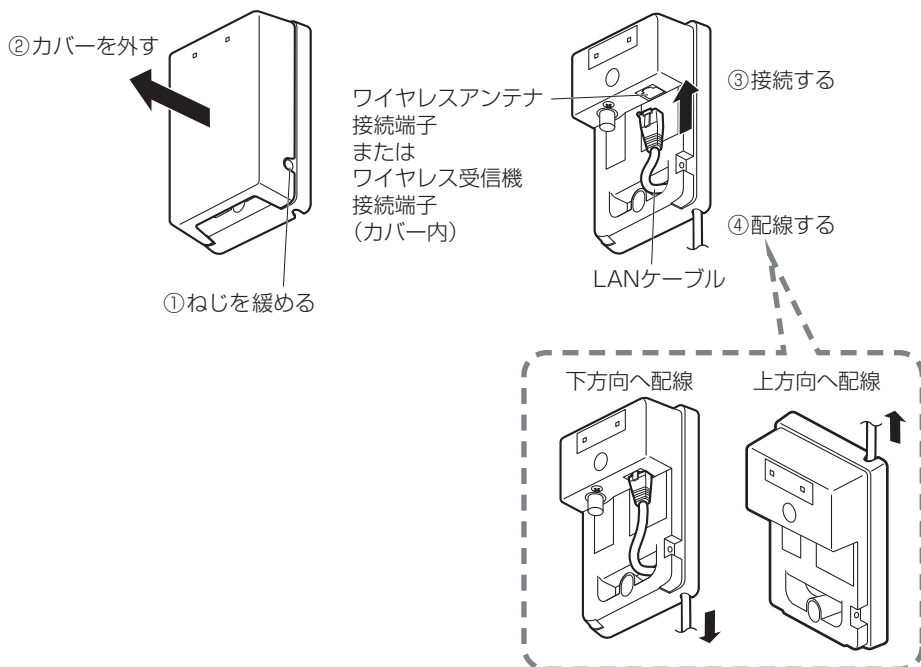
- 受信機側同軸変換ユニットは、スイッチボックスに取り付ける前に背面のアース端子をアース線で接地してください。アース線の接続方法は14ページをお読みください。
接続しなかった場合、雷サージなどの異常電圧に対する保護機能が動作せず、故障の原因となります。

■ 壁掛け設置（壁に直接取り付ける場合）

本機（アンテナ側）または本機（受信機側）を壁に取り付ける方法を説明します。

1 LANケーブルを本機に接続する

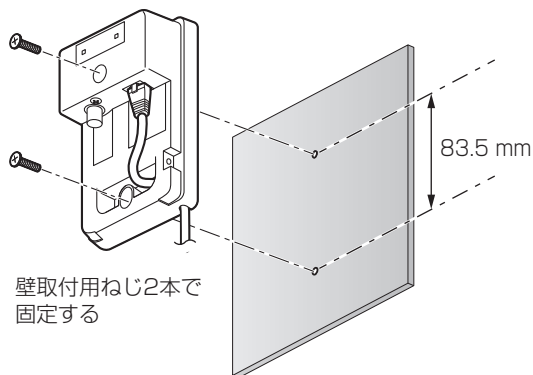
- 本機側面のねじを緩め、カバーを外してください。（ねじが引っかかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り外してください）
- LANケーブルを本機のワイヤレスアンテナ接続端子またはワイヤレス受信機接続端子に接続します。
※ LANケーブル端子のツメを必ずロックさせてください。
- LANケーブルを本機のケーブル通し孔に通して、製品の上下方向へ配線してください。ケーブル通し孔を通さずに真下に配線することも可能です。



設置のしかた

2 本機を壁に取り付ける

ケーブルを挟まないように注意しながら、本機を壁取付用ねじ2本(4.1 mm×25 mm)(付属品)で壁に取り付けます。



重要

- ねじ1本あたりの最低引抜強度は、196 Nです。
- 石こうボードや合板など、強度が弱い壁には取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は十分な補強を施してください。
- 落下防止のために、付属品以外の木ねじは使用しないでください。
- 落下防止のため、必ず壁取付用ねじを確実に締め付けてください。締め付けなかった場合、本機の落下につながります。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

3 同軸ケーブルを本機に接続する

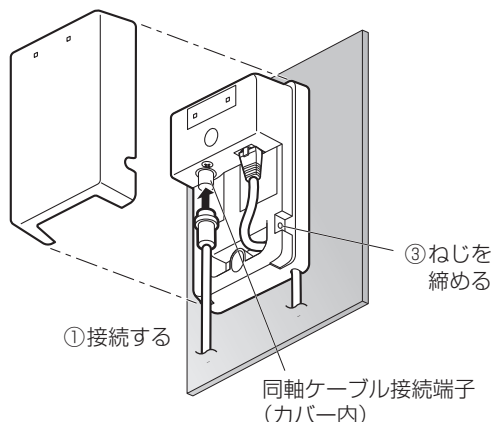
- 同軸ケーブル(BNCプラグ取り付け済み)を本機と同軸ケーブル接続端子に接続します。
※ BNCプラグを回転させて、ロックさせてください。
- 本機のカバーを取り付け、側面のねじで固定してください。(ねじが引っかかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り付けてください)

ねじ締付トルク：

0.59 N・m～0.69 N・m

{6 kgf・cm～7 kgf・cm}

② カバーを取り付ける



4 設置を確認する

- 設置完了後、すべての個所が固定されているか確認してください。
- 緩んだ部分などがないか確認してください。



- 受信機側同軸変換ユニットは、スイッチボックスに取り付ける前に背面のアース端子をアース線で接地してください。アース線の接続方法は14ページをお読みください。

接続しなかった場合、雷サージなどの異常電圧に対する保護機能が動作せず、故障の原因となります。

■ 天井設置

天井にアンテナ（WX-SA250A）を取り付ける際に開ける孔を使用して、天井内に設置する方法を説明します。

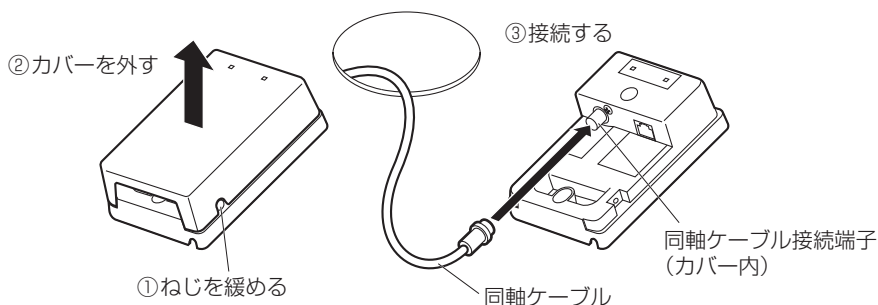
1 天井パネルに孔を開ける

天井パネルに $\phi 120$ mmの孔を1つ開けます。



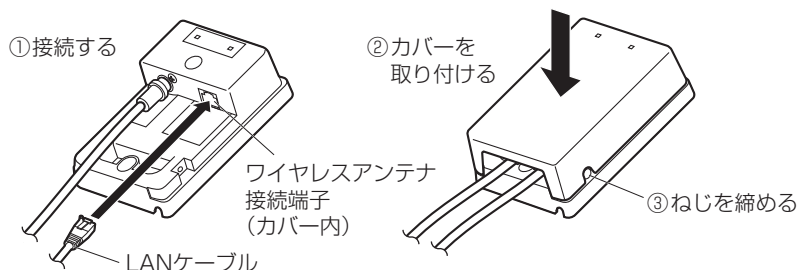
2 孔から同軸ケーブルを取り出して、本機（アンテナ側）に接続する

- 本機（アンテナ側）側面のねじを緩め、カバーを外してください。（ねじが引かかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り外してください）
- 孔から同軸ケーブル（BNCプラグ取り付け済み）を取り出して、本機（アンテナ側）の同軸ケーブル接続端子に接続します。
※ BNCプラグを回転させて、ロックさせてください。



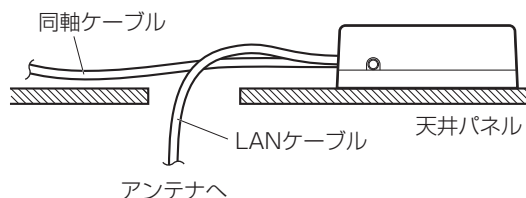
3 LANケーブルを本機（アンテナ側）に接続する

- LANケーブルを本機（アンテナ側）のワイヤレスアンテナ接続端子に接続します。
※ LANケーブル端子のツメを必ずロックさせてください。
- 本機のカバーを取り付け、側面のねじで固定してください。（ねじが引っかかることがありますので、ねじを引っ張った状態で取り付けてください）
ねじ締付トルク：0.59 N・m～0.69 N・m {6 kgf・cm～7 kgf・cm}



4 本機（アンテナ側）を天井パネル裏に設置する

天井パネルに開けた孔に本機（アンテナ側）を通して、天井パネル裏に水平に設置してください。



5 孔にアンテナを取り付ける

- 天井パネルに開けた孔に、アンテナ（WX-SA250A）付属の天井取付用金具を使用してアンテナを取り付けてください。
- 取付方法はアンテナの取扱説明書をお読みください。
- アンテナを別の場所に取り付ける場合は、天井パネルに開けた孔を塞いでください。

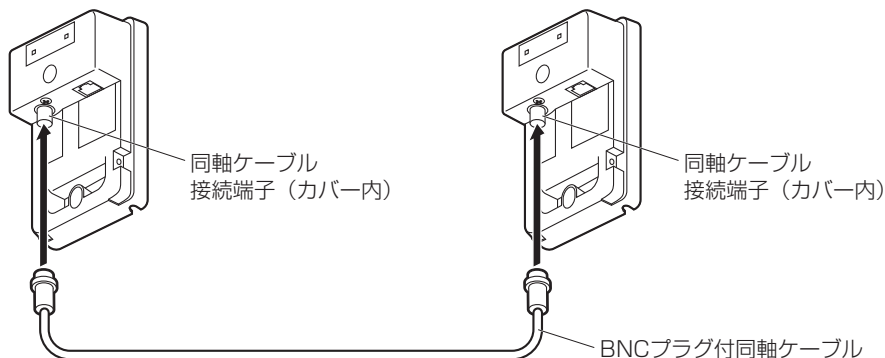
接続のしかた

■ 同軸変換ユニット間の接続

1 受信機側同軸変換ユニットとアンテナ側同軸変換ユニットを同軸ケーブルで接続する

本機（受信機側）

本機（アンテナ側）



重要

- 本機に同軸ケーブルを接続する際は、同軸ケーブルに他の機器が接続されていないことを十分に確認してください。他の機器が接続されている同軸ケーブルを本機に接続すると、本機および他の機器が故障する原因となります。
- 既設の同軸ケーブルを使用する場合、接続前に同軸ケーブルから他の機器を取り外してください。
- 本製品に接続した同軸ケーブルに避雷器など他の機器を接続すると通信に影響を及ぼすことがあります。同軸ケーブルには他の機器を接続しないでください。

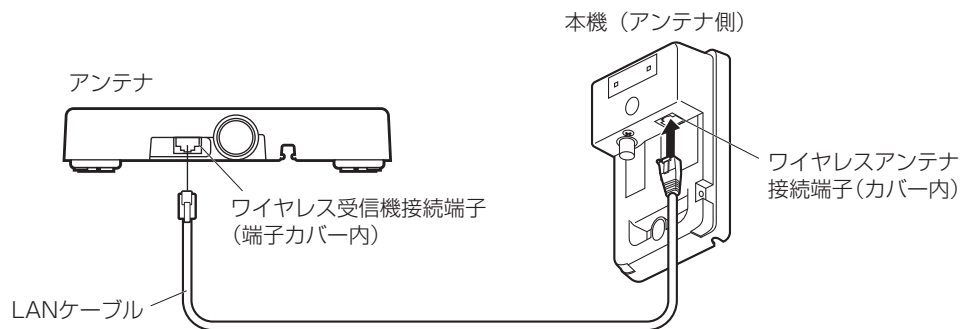


- 同軸ケーブルは、5C-2Vまたは5C-FBで、ループ抵抗 $5\ \Omega/100\text{ m}$ 以下のものを使ってください。
- 5D-2V、5D-FB、3D-2V、3C-2Vも使用できますが、ループ抵抗は $5\ \Omega$ 以下で使用してください。3C-2Vは線路抵抗値が大きいため、配線距離は最大45 mとなります。
- 使用する同軸ケーブルに適合したBNCプラグ(市販品)を使用してください。
- BNCプラグと同軸ケーブルの処理は、専用圧着工具を使用し、確実に行ってください。
- 同軸ケーブルの先端の処理は、BNCプラグおよび専用圧着工具の取扱説明書をお読みください。
- 太い同軸ケーブル（7C-FBなど）は機器への接続が困難なため、長さ1 mほどの細い同軸ケーブル（5C-2Vなど）に変換してください。
- 3C-2V、3D-2Vを使用したときは、芯線が細く折れやすいので注意してください。

接続のしかた

■ アンテナとの接続

1 アンテナと本機（アンテナ側）をLANケーブルで接続する



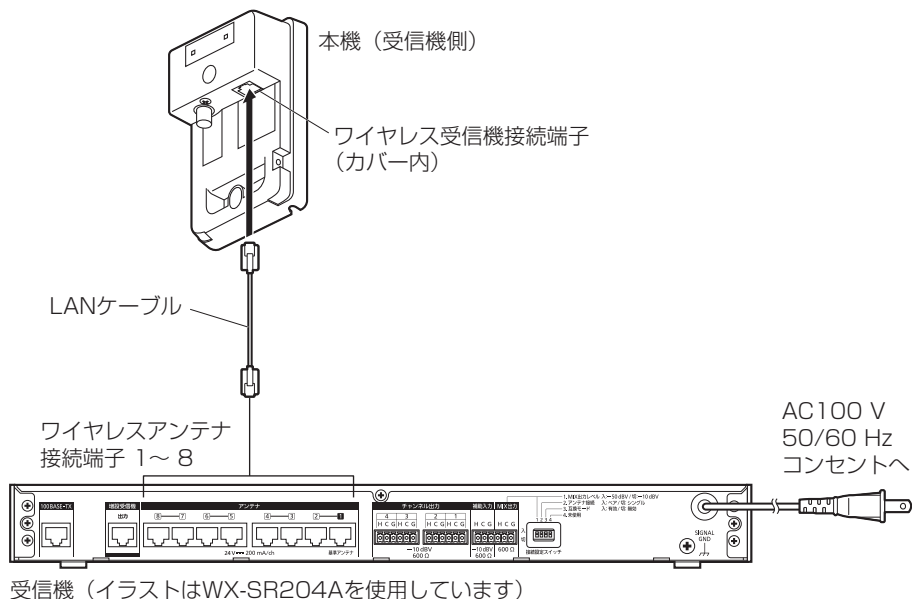
- 本機（アンテナ側）のワイヤレスアンテナ接続端子はアンテナ専用となっています。本機（アンテナ側）をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機とアンテナは必ず**ストレートケーブル**で接続してください。クロスケーブルで接続すると故障の原因になります。



- LANケーブルは50 m以内のものを使用してください。

■ 受信機との接続

1 受信機と本機（受信機側）をLANケーブルで接続する



- 本機（受信機側）のワイヤレス受信機接続端子は受信機およびアンテナ給電ユニット専用となっています。本機（受信機側）をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機（受信機側）と受信機は必ず**ストレートケーブル**で接続してください。クロスケーブルで接続すると故障の原因になります。

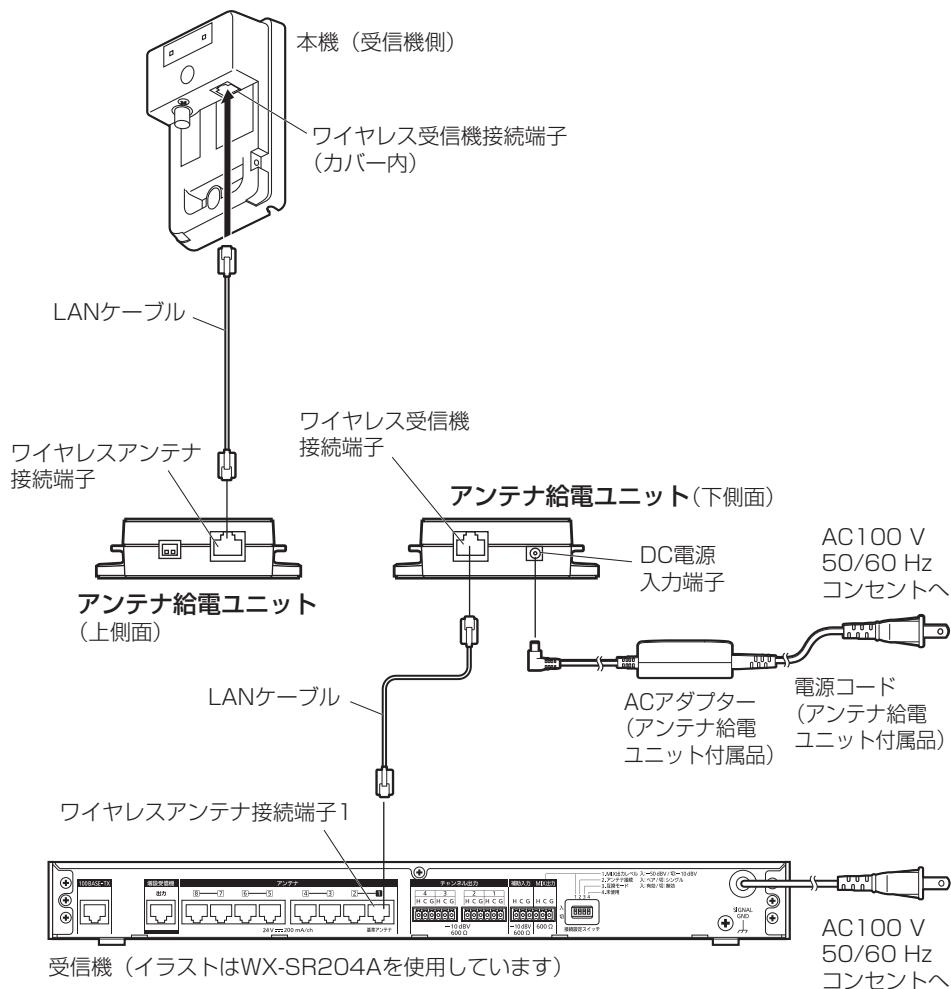


- LANケーブルは5 m以内のものを使用してください。
- 本機を接続する場合は、必ず受信機の互換モード設定（接続設定スイッチ No.3）を「切」（無効）に設定してください。互換モード設定を「入」（有効）にした場合、本機に接続されたアンテナは起動しません。

接続のしかた

■ アンテナ給電ユニットとの接続

- 1 アンテナ給電ユニットと本機（受信機側）をLANケーブルで接続する
- 2 アンテナ給電ユニットと受信機をLANケーブルで接続する





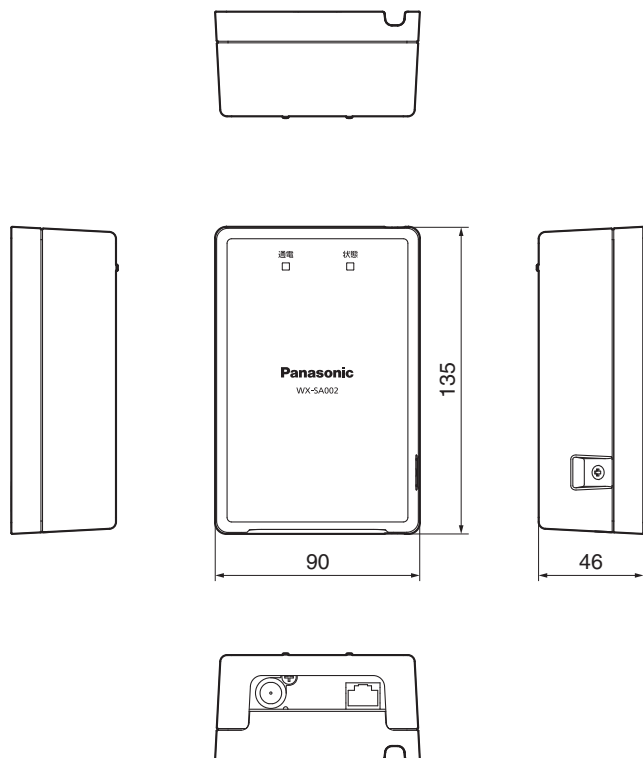
- 本機（受信機側）のワイヤレス受信機接続端子は受信機およびアンテナ給電ユニット専用となっています。本機をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機（受信機側）とアンテナ給電ユニット、およびアンテナ給電ユニットと受信機は必ず**ストレートケーブル**で接続してください。クロスケーブルで接続すると故障の原因になります。
- アンテナ給電ユニットは本機（アンテナ側）とアンテナ間に接続することはできません。



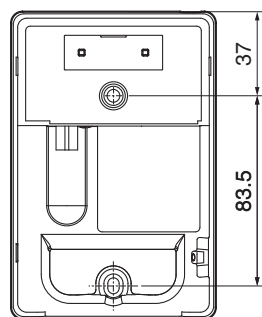
- LANケーブルは、本機（受信機側）－アンテナ給電ユニット間のケーブル長とアンテナ給電ユニット－受信機間のケーブル長の合計で5 m以内となるようにしてください。
- アンテナ給電ユニットのアンテナ・フィールド選択設定スイッチはNo.1、No.2ともに「切」（工場出荷時設定）に設定してください。
- アンテナ給電ユニットの取り扱いにはアンテナ給電ユニットに付属の取扱説明書をお読みください。

外形寸法図

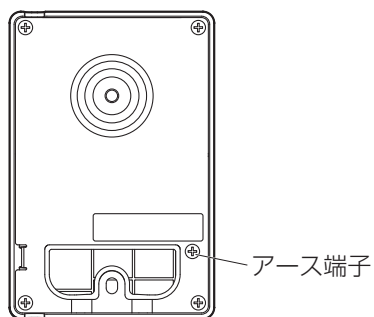
単位：mm



カバーを外した状態



背面



- 受信機側同軸変換ユニットとアンテナ側同軸変換ユニットは同サイズです。
- アンテナ側同軸変換ユニットにはアース端子はありません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。
これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、
お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
受信機側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が点灯しない	● 受信機の〔電源〕スイッチが「切」になっていませんか？ ➡ 受信機の〔電源〕スイッチを「入」にしてください。	—
	● 受信機の電源プラグが電源コンセントに確実に接続されていますか？ ➡ 受信機の電源プラグが接続されているか、確認してください。	—
	● 受信機と接続するLANケーブルが外れていませんか？ ➡ 受信機側同軸変換ユニットの受信機接続端子にケーブルを挿入してください。	10、23
アンテナ側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が点灯しない	● アンテナ側同軸変換ユニットと受信機側同軸変換ユニットを接続する同軸ケーブルが外れていませんか？ ➡ アンテナ側同軸変換ユニットおよび受信機側同軸変換ユニットの同軸ケーブル接続端子に同軸ケーブルを接続してください。	9、10、21
受信機側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が緑点灯、〔状態〕 表示灯が赤点灯、 アンテナ側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が緑点灯、〔状態〕 表示灯が赤点灯している	● アンテナと接続するLANケーブルが外れていませんか？ ➡ アンテナ側同軸変換ユニットのアンテナ接続端子にケーブルを挿入してください。	9、10、22
受信機側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が赤点灯、 アンテナ側同軸変換ユニットの 〔通電〕表示灯が赤点灯している	● 受信機と接続するLANケーブルの点検が必要です。 ➡ 販売店にお問い合わせください。	—

故障かな!?

現象	原因・対策	参照ページ
受信機側同軸変換ユニットの「通電」表示灯が緑点灯、アンテナ側同軸変換ユニットの「通電」表示灯が赤点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ● 同軸ケーブルの点検が必要です。 ➡ 販売店にお問い合わせください。 	—
同軸変換ユニットに接続したアンテナが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信機の互換モード設定が「入」(有効)になっていませんか? ➡ 互換モード設定を「切」(無効)に設定してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信機と接続するLANケーブル、アンテナと接続するLANケーブルにクロスケーブルを使用していませんか? ➡ ストレートケーブルに交換してください。 	22～25

仕様

電源	供給元	ワイヤレス受信機
ワイヤレス受信機接続端子 (受信機側同軸変換ユニット)	コネクタ	RJ-45
	使用ケーブル	CAT5/CAT5e/CAT6ストレートケーブル
	配線距離	最大5 m
ワイヤレスアンテナ接続端子 (アンテナ側同軸変換ユニット)	コネクタ	RJ-45
	使用ケーブル	CAT5/CAT5e/CAT6ストレートケーブル
	配線距離	最大50 m
同軸ケーブル接続端子 (受信機側同軸変換ユニット、 アンテナ側同軸変換ユニット)	コネクタ	BNC
	推奨ケーブル	5C-FB、5C-2V同軸ケーブル
	配線距離	最大100 m
表示（インジケータ）		通電、状態
使用温度範囲		0℃～45℃
使用湿度範囲		10%～90%（結露なきこと）
寸法		約90 mm（幅）×135 mm（高さ）× 46 mm（奥行き）
質量		約0.25 kg（受信機側、アンテナ側各1台）
仕上げ		セイルホワイト（マンセルN9.3近似値）
設置		据置、壁掛け、天井

その他

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは「故障かな!?(27、28ページ)でご確認のあと、LANケーブルを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	同軸変換ユニット
●品番	WX-SA002
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください


故障や事故防止のため、**電源**を切り、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分
(土・日・祝日は受付のみ)
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック

エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

PUQX1012WA

Fcg1220-3044

Printed in China